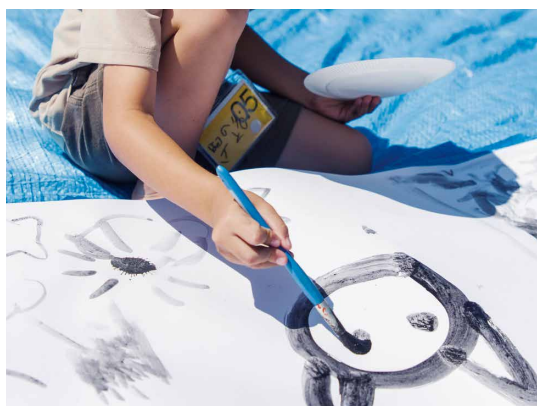
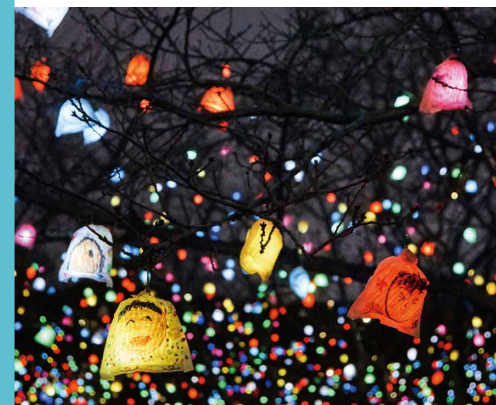


令和6年度

小学校
図画工作教科書
内容解説資料

みんなの ギャラリー

地域のよさを生かした
造形活動



開隆堂

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として配布を許可されたものです。

ひかりの実

ずがこうさく教科書
1・2年上巻
わくわくするね
→ 56ページ掲載



「ひかりの実」の取り組みは10年を少しすぎました。これまで10万人以上の方々が参加しました。

僕は「ひかりの実」の笑顔を描いてもらうとき、目の前の子どもたちにもいつもはじめに問いかけます。

「目をつむって大好きな人の笑っているときの顔を思い浮かべて下さい」と。

みなさん心に浮かんだ大切な人の笑顔を一生懸命、気持ちを込めて描いてくれます。

一つ一つが大切な人の笑顔を想うやさしい気持ちであふれています。

僕たちは当たり前前に「笑顔」でいられるでしょうか？

世界に目を向けると笑顔になれることが難しい状況にいる人が大勢いることに気づかされます。

誰もが大切な人の笑顔を大事にしたいはずなのに。

「ひかりの実」を灯すのは、他の誰でもありません。

地域の皆さん、保護者の皆さん、そして子どもたち。

「笑顔」を通じて集まる皆さんと一緒に協力し「ひかりの実」を組み立て、木々に飾りつけます。

たくさんの「ひかりの実」が実る森は、一人一人の想いが灯る森となります。

その光景はただ美しいだけでなく、見ている僕の心を暖かい気持ちでいっぱいにさせてくれます。

想像してみてください。

こんなにもたくさんの笑顔を心にもっている子どもたちがいるのです。

そして、あなたが誰かを愛おしいと想うのと同じように、ほかの誰かを大切に想っていることを。



たかはしけんじ
高橋匠太

美術家。1970年京都府生まれ。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像による表現で幅広く国内外で活動を行っている。多くの人とともに作る参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

盆栽づくり

埼玉県さいたま市

図画工作教科書
3・4年上巻
できたらいいな
→ 57ページ掲載



盆栽の町として世界的に有名なさいたま市北区に、さいたま市大宮盆栽美術館があります。市に根付いている盆栽文化をより多くの方に親しんでもらうことを目的に、一人一鉢のマイ盆栽をつくるワークショップを、毎月1回開催しています。

小中学生が対象の子ども向けと、高校生以上が対象の一般向けを実施していますが、使用する素材や内容は、大人も子どもも一緒です。苗木を鉢に植え替え、盆栽へと仕立てる行程を子どもは保護者の方と一緒に作業してもらいます。

盆栽は生きている植物が相手ですので、人間と同じように同じ樹種でも大きさや形は皆違います。自分の手元にある木をじっくりと眺め、その木の個性や魅力を探し出して盆栽の正面として定め、鉢と木の正面を合わせて植え込んでいきます。そうして自分がつくったオリジナルのマイ盆栽ができあがります。じっくりと木と向かい合い作業

をしますので、愛着もひとしおかと思えます。ワークショップを始める前に盆栽経験について聞きますと、ほとんどの方が初めてと回答します。終了後にはたのしかったという言葉も耳にし、盆栽に興味をもつきっかけとなっていることを実感しています。つくった盆栽は各自持ち帰りますので、大切に育てていただけることを期待しています。

さいたま市大宮盆栽美術館

〒331-0804

埼玉県さいたま市北區土呂町2-24-3

●電話：048-780-2091(代)

●FAX：048-668-2323

開館時間

●午前9時～午後4時30分(3月～10月)

●午前9時～午後4時(11月～2月)

※入館は閉館30分前まで

休館日

●木曜日(祝日の場合は開館)

●年末年始、臨時休館日あり



葉っぱの一生

図画工作教科書
5・6年上巻
できたらいいな
→ 56ページ掲載



▼ 2022年11月15日
岡山県津山市立北小学校



▶ 2022年6月29日
岡山県真庭市立
北房小学校

私は彫刻家画家として半世紀ロームで生活をしてきました。グローバル化という名のもとで目まぐるしく価値観が変わる中、世界が日本に何を望んでいるかと言うことも含め母国を俯瞰的に見てきました。今世界はSDGsという言葉に象徴されるように、合理性や経済性だけではなく人間の原点を改めて見つめようとしています。そのような中、私たちは日本の生活をふり返ると、長きにわたり私たちの情緒をつくってきた民族の伝統文化が失われつつあると気づきます。このような危機感の中で、日本滞在中に各地で「順九さんの寺子屋」という名称で会を催してきました。コンセプトは古来、文房四宝と言われてきた硯墨筆紙が生活から消えつつある中、少しでもそれらの



▲ 2022年11月21日 愛知県名古屋市長守山養護学校

美しさを体験して発見すること。「学ぶ」ではなく「遊ぶ」を通じてたのしむとともに、自分で仕上げたそれぞれの作品から、全ての人は異なる個性をもっているということに気づくこと。「葉っぱの一生」というテーマで描かれた巻紙はそれぞれの心のフィルムです。一同に並べられた作品たちは、墨の濃淡の美しさやそれぞれの感性の違いなどを理屈ではなく、すべて自分で仕上げたという満足感とともに実感することとなります。小さな試みではありますが、今後の日本を背負っていく子どもたちの小さな自信につながればと願っています。

むとうじゅんきゅう
武藤順九

彫刻家画家。1973年東京芸術大学卒業後ローマへ、現在に至る。国際賞受賞多数。パチカンはじめ人類の聖地へ彫刻作品を永久設置。その業績に対し2009年国際天文学連合が小惑星に Mutojunkyu と命名。

【武藤順九公式サイト】
<https://www.junkyu.jp/>



写真提供 (すべて)：一般社団法人風の環

獅子頭

図画工作教科書
5・6年上巻
心をひらいて
→ 57ページ掲載



▶ 私の夢はお医者さん！
聴診器を頭に乘せました。



人形師さんから「夢獅子」づくりで、
色の塗り方を教えてもらいました。



▲「もてなすトリオ」制作でも人形師さんからご指導して
いただきました。



▲「造形フェスタ」に「もてなすトリオ」を展示しました。
名前は、左から「なすおさん」「あきたろうさん」「みな
みさん」です。

熊本の伝統工芸品「おばけの金太」の制作者である人形師厚賀新八郎あつかしんぱちろうさんから獅子舞の説明を受けた後、自分の将来の夢を獅子頭に乘せた「夢獅子」づくりに挑戦しました。1リットルサイズの紙パックを使って口の開く仕組みをつくり、その上から紙粘土を貼りながら獅子頭の形や夢に関する小物をつくっていきます。獅子頭の形や口の開く仕組み、色の塗り方などを厚賀さんから丁寧に教えていただきました。すばらしい技術をもっていらっしゃる厚賀さんのご指導のおかげで子どもたちは、意欲的にそして思いを込めて作品づくりに取り組むことができました。

できあがった「夢獅子」は、「造形フェスタ」に展示します。「造形フェスタ」とは、全学年の子どもたちの造形作品だけでなく保護者、職員、地域の方々や近隣の保育園児の造形作品なども展示し地域に公開する展覧会です。6年生は今回「夢獅子」だけでなく「もてなすトリオ」の立体作品も展示しました。「もてなすトリオ」とは、飽田地区の特産品である「熊本長なす」をモチーフにした学校のシンボルキャラクターです。この「もてなすトリオ」の立体化も厚賀さんにご指導していただきました。子どもたちは地域の人形師厚賀さんと共に卒業の記念となるすばらしいものづくり経験ができました。



きたの きょうこ
北野京子

熊本市立飽田南小学校 元教頭
熊本県図画工作・
美術教育研究会会員
熊本市図画工作・
美術教育研究会会員

オエダラ箕み

図画工作教科書
5・6年下巻
つなげる思い
→ 57ページ掲載



オエダラ箕はイタヤ材を横にフジ
ズルを縦にして編まれたもので、そ
の形は大きなするめいかに似ている。
両角に折り込まれた耳と呼ばれた部
分とワキヅクリの端とを縫い合わせ
て立ち上がりをつけ、形をつくる。
大きさは大別して四種類に分かれ、
大箕、中箕、一斗上げ、五斗上げと
なる。これは穀物などの容量と深く
関わりがあり、一斗上げの場合、そ
の量を入れて使用する。したがって
中箕はそれよりも多目に入れて使え
るし、五斗上げは少量の場合使用さ
れる。大箕は酪農家で
乾草などの運搬など
に使うし、いろいろな
用途によって使い分けで
きるのも箕の特徴の一つ
かも知れない。
次は竹の曲げ方である。
座ったままの状態で根曲り
竹の元の方をおさえ、三尺
程のところを内側に向けて直
角に曲げ、さらに一尺程のと
ころを曲げ「コ」の形にする。
そのときに特に注意すること
は、曲げる箇所を手の熱で充分
に温めることである。そうしな
いと不均衡な形になる。
最後はふちつけである。編み上
った箕に曲げた二本の竹を、カラミギ

を使って巻きつけることを指す。内
竹と外竹を合わせてツカミで止め、
中、三つ、五寸、サオの順に七個所
を巻く。
古くから「竹つけ十年」といわれ
てきた。それ程竹の曲げ方は難しく
箕の使い心地を左右するのだ。中に
物を入れたときの快いたわみとそれ
をはね返す力が最大の魅力である。
先の言葉も先達が説いた金言かも
知れない。



たくちいへい
田口召平

オエダラ箕製作技術保存会
昭和12年9月生
平成12年3月 秋田市無形文化財指定
同21年3月 国指定重要無形民俗
文化財指定
同16年 東北芸術工科大発行の
別冊東北学6号に「箕
を語る」で掲載される

提供：秋田市文化創造会館 撮影：鄭伽椰

地域の 美術館と 一緒に



▲ 児童（5年生）と保護者が美術館で作品を鑑賞する様子



令和5年に世田谷美術館にて「セタビの森の動物たち」という、動物の所蔵作品を集めた企画展が行われました。その展示に子どもたちの考えたさまざまな動物たちも一緒に展示されました。

全8次の授業計画です。
第1、2次では、一人一人が考えたセタビの森に飾りたい動物を学習用アプリの上で共有し、イメージを広げました。

タブレット端末上に児童が考えた動物が並ぶことで、子どもたちは擬似的にセタビの森を体験します。

第3、4次では、学芸員さんと彫刻家さんをお招きしてお話を伺っています。

学芸員さんからは実際の企画展のコンセプトについて、彫刻家さんからは動物を表現する際にどのようなことを考えて表現しているかお話しいただきました。

第5次から実際につくる時間です。

段ボールに動物を描き、切り抜いて色を塗ります。

切り抜く際には美術館のボランティアの方々が手伝いに来てくださいました。

ただ動物を考えるだけでなく、美術館に飾れること、さまざまな大人とかわれることで主体的に取り組むことができました。美術館など地域とかわる価値を学習に取り組む児童の様子から感じられました。



たうらかいたろう 田浦海太郎ジャン

町田市立南大谷小学校 教諭
1991年生まれ。多摩美術大学卒業後、美大受験予備校や私立中高一貫校講師を経て世田谷区立塚戸小学校へ。図画工作専科として、また、世田谷区のICT教育を推進するICTインフルエンサーとして、陰に陽に活躍する。2023年度より現職。

※本実践は世田谷区立塚戸小学校在籍時に行われたものです。



令和6年度小学校図画工作教科書内容解説資料

みんなのギャラリー 地域のよさを生かした造形活動

2023年5月20日発行

発行所 開隆堂出版株式会社 (<https://www.kairyudo.co.jp/>)

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

電話 03-5684-6111 (代表)



非売品